



地域移行通信

第51号 令和6年4月発行

世田谷区 自立支援協議会 地域移行部会



この通信は、部会の様子をお伝えし、関連する機関のみなさまとの情報共有をめざして発行しています。

＜世田谷区自立支援協議会 地域移行部会＞

精神科病院の入院患者等の退院促進に向け、関係機関との情報交換や課題への対応策等の検討を行っています。



令和5年12月「あんすこスキルアップ会議」に参加！



あんしんすこやかセンター※スキルアップ会議

日時：令和5年12月21日(木)14:00～15:30

テーマ：「精神障害の高齢者の退院支援、地域で暮らすために」

場所：ブライトホール（世田谷区役所第3庁舎）

参加者：あんしんすこやかセンター※職員30名 ※世田谷区地域包括支援センター

令和3年度の「誰でも地域移行部会」にて、ケアマネジャーの中には、精神疾患がある方や家族の対応に悩んでいるケース、苦手意識がある方もいるというお話を伺いました。地域移行部会としては、精神疾患に対する支援のハードルを少しでも低くしていきたいという思いで、令和4年度からあんしんすこやかセンタースキルアップ会議にて研修を実施しています。

令和5年度は、前半では、精神障害者長期入院についての基本的な考え方から、入院中および退院後の支援などについてお話をしました。後半はグループワークを行いました。精神疾患架空事例(長期の入院から退院し、精神症状がありながらも地域で暮らしていきたい方)に対して、「地域移行してくる方に対して、どんな支援が考えられるか、そのためにはどんな情報を知っておくべきか」などについて、ざっくばらんに意見を出し合いました。

グループワークでの感想～あんすこの視点から

・「障害でも高齢でも、アセスメントで聞かなければいけないことは変わらない」「障害でも高齢でも、地域の情報は必要になってくる」など、障害について少し身近に感じられたような感想がきかれました。

・事例の対象者が「人との関わりを持ちたい」と思いがある設定であったことに対して、「役割がもてるような活動が地域であつたらいい」「既存のものだけでなく居場所づくりが大事で、認知症の方と同様、同じような年代の方と話せる場があるといい、そうでないと地域に帰ってきたときに不安が大きいのではないか」などあんすこの視点でご意見いただきました。

・「介護保険のサービスが合わず、インフォーマルにつながとしても方法がない場合がある、それを作っていく際にあんすこの力が発揮できるのではないか」



参加者の職種

主任介護支援専門員・介護支援専門員・保健師・看護師・社会福祉士

精神障害者の精神病院からの退院の支援をされたことはありますか？

あり	17名
なし	10名



【対応件数】
1件(12名)
2～3件(3名)
5件(1名)
5～10件(1名)

支援の際に困ったことは？

【医療との連携】

・退院後に症状が悪化し、受診拒否や内服拒否で再入院となった。

【退院に向けた本人や家族の意向の調整】

・統合失調症の症状が続いており、家族の不安がある中で退院の方針となっていた。

・本人は退院を希望していないが病院が退院させたい場合、在宅定着は難しい。

・退院時にうつ状態がひどく、支援体制についてご本人やご家族が積極的ではなかった。

【地域の受け皿】

・受け皿がない。つなぐサービスの不足、医療の継続など。

精神障害者の精神病院から退院された方の地域での暮らしを支援されたことはありますか？

あり	13名
なし	13名



【対応件数】
1件(9名)
3件(2名)
5件(1名)
10～20件(1名)

支援の際に困ったことは？

【医療との連携】

・通院のキャンセルや服薬中断してしまうことで、医療とのつながりが難しくなると感じた。

・病院側・地域で受ける側・本人の意向の食い違いがあった

【地域での生活】

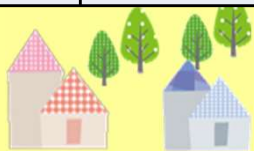
・集合住宅の中で音を立てるなどトラブルあり、疾患によるものではあるが、住民感情にも配慮が必要。

・地域の方から「火でも出されたら心配」など無理解な発言が聞かれた。



精神障害者の対応について「苦手意識」がありますか？

あり	14名
なし	12名



【あり】と答えた方の理由

- ・正解がなく難しい
- ・65歳以下の方は繋げられるサービスがなく対応方法がわからない
- ・経験がないため関係構築から対応について不安がある
- ・激しく攻撃されることがあると疲弊する
- ・あまり経験がない、対応数が少ない

最後に

ご参加いただきましたみなさまありがとうございました！

「障害分野の支援者と顔の見える関係づくりができてよかった」「ざっくばらんに意見交換できてよかった」という感想も聞かれた一方で、「あんすこだけで対応することはできない」「こんな事例に対応するのは不安に感じた」という声もありました。

今回は、架空事例を通して、あんすこの立場で考えられることについてのお話を伺うことで、地域移行部会としての気づきも得られたらという思いで開催いたしました。

地域移行部会では、精神科病院を退院した方が、自分らしく地域で生活するために、自分たちには何ができるのか？どのように支援したらよいか？について考えてきました。それぞれが自分のこととして考え、自分の言葉で話し、様々な立場で知恵を出し合うことを引き続き行っていきたいと思っています。

【事務局】

世田谷区 障害福祉部 障害保健福祉課
世田谷保健所 健康推進課

電話 03(5432)2247
電話 03(5432)2947